

令和2年度上半期 幹事会活動報告

【目的】北信圏域の障がい者福祉の現状と課題を踏まえながら、地域に必要とされる取り組みや施策の実現に向けて、さまざまな検討協議を行う。また、協議会が円滑かつ効果的に機能するための検討協議を行う事を目的とする。

【主な活動】

幹事会

- 相談支援専門員の活動報告を受け、地域の課題について検討を行っている。
- 第5期障害福祉計画が今年度で最終年となることから、進捗を検証し、今後力を入れるべき課題について検討すると共に、第6期障害福祉計画の策定を進めている。

市町村 課題検討 WG (月1回)

- 幹事会とともに、第5期障害福祉計画の評価をしながら、第6期障害福祉計画の作成を進めている。
- ケアプラン研究会にて、サービス等利用計画のポイントについて学習をし、相談支援専門員と合同でGSV（グループスーパービジョン）を実施した。
- 圏域内の相談支援専門員との情報共有・意見交換会を8月に実施。ざっくばらんに意見交換し、地域の課題や今後取り組んでいきたい事等の共有をした。1月に2回目を予定している。
- 圏域内の就労アセスメントの現状や今後についての共有、今後配置される主任相談支援専門員の役割の検討等行ってきた。

地域生活支援 拠点等事業 検討会 (月1回)

- 地域あんしんコーディネーターの活動や空床2床の利用実績等の報告を受け、地域課題の解決に向けた検討を継続していく。
- 地域生活支援拠点等事業の5つの柱（①相談、②緊急時の受入れ・対応、③体験の機会・場、④専門性、⑤地域の体制づくり）の中で、今年度は特に「体験の機会・場」について整備が進むよう検討。地域移行や親亡き後の暮らしを見据え、一人暮らしの体験ができる場の整備について検討をしており、ニーズ調査を実施。結果を参考に、来年度事業化できるよう検討を進めている。